

いなば泰子

ニュース



第31号 2006年1月

発行 日本共産党岡山市議団

〒700-8544 岡山市大供1-1-1

岡山市役所内

TEL (086)803-1000

内線 4370・4371

FAX 234-9388 (直通)



日本共産党市議団は、11月18日、2,006年度予算編成に向けて、平和の問題や教育の問題など220項目の要望を市長に提出しました。

(2面に関連記事)

今、介護保険法の改悪、障害者の自立支援法でサービスに自己負担を取り入れる規定を導入、年金改悪、庶民増税や定率減税の廃止など、社会保障がなし崩しに改悪され、憲法25条で保障される文化的で人間らしく生きる権利さえも奪われようとしています。

それだけでなく、基本的人権の制約や自衛隊の海外派兵を可能にする等の改憲の動きが強まり、暮らしや平和が脅かされています。

憲法・地方自治法の理念は、戦争放棄、住民の福祉・暮らしを守ることです。岡山市民の暮らしや福祉をどう守っていくか、市民の視点で国に声を出すことが求められています。ますます、議員の果たす役割は重要になっています。市民の暮らし・福祉・教育の充実にむけて頑張ります。

今年も宜しくお願いします。 稲葉泰子

明けましておめでとうございませす

「やす子の十大ニュース」

～ 昨年の活動をまとめました ～

- 一、教育委員会予算の削減をやめ、増やしてください、と強く抗議しました。教育予算の全体に占める割合が年々減り、十一月補正予算で遂に七・八%にまで落ち込み最低だった八%を下回る現状です。
- 二、「市民協働の人づくり条例(仮称)」の策定が教育委員会を中心に準備されています。私は、「家庭」や「地域」の役割にまで条例で踏み込むことは慎重に考えなければならぬし、子どもの権利条約の趣旨をどこまで取り入れるのが焦点になると思っています。文教委員会でもそのように主張しました。みなさんの意見をお聞かせください。
- 三、乳幼児医療費の無料化、いよいよ拡大の見通しです。就学前までを主張しました。
- 四、「むだづかいウォッシング」を月一回取り組みました。岡山駅の西口、東口周辺のむだづかい、特定の事業者に多額の税金を投入している実態にせまります。
- 五、憲法制定六十周年にあたり、原水爆禁止世界大会(長崎)に参加しました。被爆された方が戦争の悲惨さを訴えながら、私たちに託す言葉が印象的でした。七十周年はもつこない。」と世界平和の実現を未来に託す言葉が印象的でした。
- 六、「憲法九条の会」が市内全域で発足しています。岡北、幡多学区、続いて財田共同センターの九条の会、発足に力を入れ、署名・宣伝行動にも取り組みました。
- 七、国民体育大会・障害者スポーツ大会が四三年ぶりに岡山で開催。「ももたろうスタジアム」で行われた開会式に参加しました。障害を持った方の一生懸命な姿に感動しました。
- 八、灘崎・御津との合併式典に参加しながら、それぞれの町の良さは残すといいた。年齢が岡山市の低い年齢になります。灘崎の共同作業所の補助金は、早くも来年度から岡山市の基準で減額されてしまいます。
- 九、不当な起訴をされている大分県豊後高田市の大石市会議員を応援するため、裁判の傍聴に足を運びました。後援会ニュースを配っていて逮捕されるのは許せません。憲法で保障された表現の自由をながしるにしていけません。国際人権規約の委員でもある工バット氏も応援に駆けつけました。
- 十、衆議院の解散で萩原氏が選挙に出馬を決め、突然の市長選挙と市議補選。市議補選で林潤氏を擁立して、当選をめざしてがんばりました。

【今後のスケジュール】

- 一月四日 市役所前で新年の挨拶、宣伝
- 五日 初せり、中央卸し売り市場
- 八日 消防出初め式
- 成人式(岡山ドーム)
- 十五日 人権連・新年会
- 二十四、二六日 文教委員会 視察

みんなの 声

いま、なんで政府・与党は
憲法を変える というのでしょ
う。

国民の中からは、そういう大き
な声は出ていません。

私たちが、いま、大きな関心をもっている
のは、老後のことです。

医療費はどんどん高くなる、国民年金だけ
の人でもはいるる養護施設が足りない、息子
や孫たちに仕事がない、そういう不安をか
かえた老後が待っているのです。これをどう
にかしてほしいのです。

平和憲法を守ろう

『山陽新聞』(11月13日)に「一発
五億円のミサイルを百二十八発つ
くる計画」と出ていて、びっくり
し腹が立ちました。ミサイルが空
を飛びかつようになったらおしま
いです。そんなる前に、根気強く
平和的な話し合いをする、これが
政府のやるべき外交ではないです
か。戦争の準備のために税金をつ
かってほしくありません。

戦争へ、戦争へ、戦争をやりたい
いアメリカにくつついて一緒に戦
争をする、そのために憲法を変え
ようとしているんですね。

だったら、私たちは次の世代の
ためにも、平和憲法を守りたい、
と思っています。
(祇園・A子)

戦争する国 どしなため

憲法を守る地域の活動

稲葉市議の活動地域で憲法九条を守る組織が次々と生れ、その行動に
都合のつく限り稲葉さんも参加しています。

竜の口・財田学区

憲法改憲反対共同センター

昨年二月一日に発足。「みんな
の診療所」の真鍋所長さんを迎え
た憲法学習、「九条の会」の呼び
かけと「共同センター」の訴え二
千枚の地域配布、生活と健康を守
る会北ブロックでの宣伝・署名な
どの活動を続けています。

憲法9条を守る

岡山北部共同センター

毎月九日、岡北京山・香和の三
中学校区の順番に行動していま
す。十二月九日は八人が参加し、
「半田山ハイツ」で戸別訪問して
署名活動を行いました。

一月は、岡北学区で街宣・署名
活動をします。

岡北地区9条の会

二月に学習会

昨年の連続二回の憲
法塾に続いて岡北地区
九条の会は、二月四日
(土)午後二時から北公
民館で、岩間一雄先生
(岡大名誉教授)を迎
え学習会を行います。



乳幼児医療費無料化で進展

11月9日、「乳幼児医療費無料化をすすめる岡
山の会」が6,907筆の署名を添えて、岡山市に「医
療費無料の対象年齢引き上げ」の要望書を提出し
ました。倉敷市は県の補助が少ない中でも、年齢
引き上げに踏み切ったこと、瀬崎や御津との格差
を早くなくしてほしいなど訴えました。稲葉、藤
沢議員も同席し支援しました。

その後、11月18日に日本共産党市議団が来年
度予算要求の申し入れをした際、高谷市長は「医
療費無料化の年齢拡大を他の市町村に合わせるよ
うにする」と約束しました。

健康まつり

十一月十二日(土)、

岡山医療生協の「健康ま
つり」が藤の里の公会堂
で行われ、稲葉泰子議員
も参加しました。介護保
険の制度改悪、医療費の
制度も変えられようと
している中、みんなが健
康について考える機会
になりました。

